

園児たちがパークに花を植栽

5月13日（水）、管内の保育園など園児137人の小さな手とボランティアの皆さんの手によって、たくさんのお花が富士見湖パークの花だんに植えられました。

はじめに野木保育園の5歳児全員が1文字ずつのプラカードを持ち「おはないっばいつるたまち」の文字を作り、元気いっぱい誓いのことばを述べました。

その後、園児たちは、廻堰万年青会、木筒ひまわり会、五所川原農林高校の生徒の皆さんと一緒に、ペコニア1万本を手が泥んこになりながら丁寧に植えていき、700平方メートルの花だんを赤やピンク、白といった鮮やかな色彩に彩っていきました。この花だんは、秋までここを訪れる方々を和ませてくれます。



△げんきにおおきくぞだつてね



△上手に文字と誓いのことばができました。



5/230なる幼稚園55周年花まつり

5/20 鶴遊館利用者の有志による公民館の環境整備

5/8生活改善グループ協議会・豊明館花壇づくりと環境整備



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

地域の特色生かした小学校運動会

5月31日（日）、鶴田・菖蒲川・胡桃館・富士見・水元中央の管内5つの小学校で一斉に大運動会が開催されました。

前日の天気予報では雨の確率50%と屋外での開催が心配されましたが、児童の熱意が通じたのか、雨が降ることなく全校無事競技を終えることができました。

今年初めてとなる1年生たちは、緊張の面持ちで入場行進、そして白組赤組に分かれての応援合戦、高学年へつなぐリレー競走など、すべての競技に小さな体で全力を尽くして頑張りました。さぞかし父母の方々にはたくましく映ったことでしょう。

また、翌週の6月7日（日）には、梅沢小学校（芦田由紀子校長）で大運動会が行われました。朝、降雨のため開始時間が少し遅れましたが、午前中には天気が回復し、スプリンター揃いの6年生100メートル走や地域の人たちを交えたユニークな競技で運動会を大いに盛り上げていました。



△父母が助っ人に入る玉入れ競走は楽しい（水元中央小）

ホタルのすむ公園になってね

5月19日（火）、鶴田小学校（古川家光校長）の3年生64人とホタルを呼び戻す会（池田勇作会長）の皆さんが、丹頂鶴自然公園内のホタル池に注ぐ小川に約200匹のホタルの幼虫を放流しました。

放流は今年で6年目となり、子どもたちは「ちゃんと育ててね」「エサいっぱい食べて頑張れよ」などと思いをこめて声をかけながら、会員の尾崎美津郎さん（昨年まで鶴田小学校校長）が育てたゲンジボタルの幼虫と餌になるカワニナ（小さな巻貝）と一緒に小川へ放流しました。

6月末から7月には成虫になったホタルが夜空を舞う姿が公園内で見られるそうです。



△ホタルの幼虫（体長約1.5cm） △この幼虫が本当にホタルになるのかな？不思議そうな子どもたち



△抜群のチームワークで演習の中では群を抜く早さで終了

岩木川水防演習・町消防団が活躍

5月30日（土）、五所川原市乾橋下流河川敷において「岩木川水防演習」が開催され、岩木川流域の15市町、消防関係、青森県、国土交通省東北整備局などから3,600人が参加して「複合型災害対応訓練」が行われました。

鶴田町からは、水防団を兼ねる消防団と団本部より精鋭25人が参加し、河川増水時の水防工法の一つである「月の輪工法（土手に沿って土のう半月状に積み上げていく工法）」の作業を披露しました。



当町の団員は、他を圧倒する早さと正確さで、日頃の訓練の成果を存分に見せていました。

末永くお幸せに・結婚記念植樹

5月23日（土）、平成21年度の結婚記念植樹祭が行われ、新婚夫婦たちが鶴寿公園内に記念樹を植樹しました。

35回目を迎えた今年は、昨年度中に婚姻の届け出をした56組のうち15組が出席。不死不滅といわれる「メタセコイヤ」の根元に仲良く土をかけ、木と共に夫婦としても年輪を重ね、成長していくことを誓いました。

また、同会場で、中野町長から難を転ずるとされるナンテンの苗木と記念品が贈られると新婚夫婦を代表して木村洋文さん、広美さんご夫妻が謝辞を述べられました。みなさま末永くお幸せに。



△照れながらも記念植樹する新婚夫婦